

# ひがしはら

平成26年6月26日  
第3号  
杉並区立東原中学校

## “伝統の継承” ～東原中創立65周年を迎え～

副校長 賀屋 寛

東原中に着任し、早いもので3ヶ月が経とうとしています。新しい環境の中で、不慣れなことが多い中、PTA 役員の方をはじめ地域、学校支援本部の方々に温かく迎えられ、大変充実した日々を過ごしております。東原中学校の一員として、自分の経験を生かしながら、伝統を継承し今まで以上に信頼される学校を目指してまいります。どうぞよろしくお願い申し上げます。

5月31日(土)には、**第65回運動会**にご来校いただきありがとうございました。生徒たちの応援だけでなく、PTA 競技(遠投玉入れ)の参加や、裏方でのお手伝い等いろいろな面でサポートしていただき感謝しております。

創立65周年記念の全体スローガンとして“**原中旋風**”。赤団(A組)は“**炎の闘魂**”、白団(B組)は“**一意戦心**”とスローガンを掲げ、運動会実行委員会を中心に自主的に練習を積み上げていきました。特に驚いたのは応援団のソーラン節です。参加者を募ると全校生徒172人中67人の有志生徒が出演を希望し、放課後の少ない練習時間で必死に振り付けを覚え、頑張ってくれました。

原中生が常に大切にしている校風に“**自由と責任**”があります。人から言われて「やらされている取組み」ではなく、自由に「自らやる取組み」では大きな差があることを実感し、責任をもって行事を成功させようとする姿勢が見受けられました。運動会後のアンケートでは、勝ち負けに関わらず大切なことを考えたり、自分の役割はどうだったのかを評価して次につなげることをまとめました。その集計結果では、各学年とも取組みについて前向きな回答が多数を占めています。学年が上がるにつれて自分の取組みだけでなく、仲間の応援の大切さを理解している様子も読み取れました。また、運動会の直前にクラス間であったトラブルを反省として捉え、当日は互いに引きずることなくできたことなど、3年生は冷静に分析している様子も表れていました。いろいろな過去の経験を思い出し、最後の運動会で当日の競技中で涙があふれていた生徒も少なくありません。2年生はその姿を見て、「来年は自分達だ」という気持ちが芽生え、1年生は、学年やクラス関係なく原中生が一致団結してできたことで「行事の楽しさ」を感じることができました。閉会式後に撮った各クラスの写真には達成感のある成長した笑顔が一杯です。生徒の心の中にも忘れることのない良い思い出として残り、この行事での経験が伝統として引き継がれていくものと確信しました。

運動会の記録として種目の前に仲間と円陣を組みクラスの一体感が出ている写真や、生き生きとした表情で踊っている応援団の様子が動画にできました。いろいろな機会で紹介していきたいと思っています。今回創立65周年ということで鮮やかな青で背中に“**東原中**”と金の文字でデザインされた素敵な“**はっぴ**”を同窓会から50着も寄贈していただきました。運動会に限らず、発表できる場面で利用していきたいと思っています。新たな伝統の誕生ではないでしょうか。ご協力ありがとうございました。

## “社会を明るくする運動”に多数の参加希望者。感激です。

“社会を明るくする運動”とはすべての国民が、犯罪や非行の防止と罪を犯した人たちの更生について理解を深め、それぞれの立場において力を合わせ、犯罪や非行のない明るい地域社会を築こうとする全国的な運動です。

今年は平成26年7月7日(月)午後4時30分～午後5時30分に下井草駅で駅頭広報活動(ティッシュ配り)を実施する予定です。参加者を募集したところ60人近くの生徒が参加してくれることとなりました。推進標語「目指せ Peace & Smile」のプラカードを掲げて広報活動をしてきます。生徒のボランティア活動の様子を見ていただけたらと思っています。

## “マナーを守ろう！インターネット”について

全国の中学生の間で、LINE、メール、インターネット等においてトラブルが拡大しています。本校でも機会があるごとに話題にして注意を呼びかけています。また、保護者から相談を受けて早期に指導したケースもあり、再発防止に努めています。特に1年生には東京都教育委員会の作成した「マナーを守ろう！インターネット」というリーフレットを全員に配布して時間をかけて指導しています。以前は非公式に立ち上げられていじめの温床となった「学校裏サイト」が問題となりましたが、今回はさらに身近になったLINEでのトラブルがあります。スマホやインターネットを利用することが悪いわけではなく、ルールやマナーを守って正しく利用することを大人が教えていくことが必要になっています。LINEでは軽い気持ちでのうそやいたづら、人の悪口やうわさ話などを書き込み、大きなトラブルになってしまうことがあります。「そんな気持ちじゃなかったのに」と後になって反省しても、記録(文字)として残っているものは、口で話したこととは違って、心の傷は大きく、取り返しがつかないことになってしまいます。また、書き込みをしなくても「既読スルー」などで人間関係が悪くなったり、それを恐れて携帯に依存してしまい勉強に手がつかなくなってしまう事例もあります。利用する時間も含めて、ご家庭でのルールについて話し合いをお願いします。学校で把握することも難しいので、何か心配なことがありましたら「学校に相談するのはちょっと…」と思わずに遠慮なく相談していただけると助かります。学校とご家庭同士での横のネットワークを広げていくことが、トラブルを防止してくことにもなると思います。



## “歯と口の健康に関する標語”金賞を受賞！

「歯と口の健康に関する作品」の応募作品の中から、2年A組 板谷 俊太郎くんの標語が厳選なる審査の結果、金賞に選ばれました。おめでとうございます。

(表彰式が6月28日土曜日にセシオン杉並ホールで行われます。)

金賞受賞作品

## 「大切に 言葉と食事の 通り道」